【試合結果】

男子

日時	平成29年4月16日（土）	8:40 ～
会場	千歳市スポーツセンター　Bコート	

結果	●			○
	港川			北見北
	沖縄			道3位
	47	9 － 14		52
		11 － 16		
		12 － 12		
		15 － 10		
		OT		

第10回北海道カップ中学生バスケットボール大会

【ボックススコア】

港川　沖縄

No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	名城 伶真	DNP						
5	小渡 宏次朗	×	7	0	2	3	5	3
6	花城 怜翼	×	6	1	1	1	2	1
7	金岡 篤矢	×	4	0	2	0	5	3
8	仲間 音生	／	1	0	0	1	0	2
9	嘉数 宜喬	×	0	0	0	0	0	0
10	新里　陽昴	DNP						
11	玉城 浩志	DNP						
12	棚原 雄斗	／	2	0	1	0	3	2
13	津波　恭哉	DNP						
14	仲間　勝春	DNP						
15	又吉　篤秀	DNP						
16	高良　翔夢	DNP						
17		DNP						
18	ポーグ 健	×	27	0	13	1	9	2
HC	大見謝　匡							
合計			47	1	19	6	24	13

北見北　道3位

No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	宮村　詩恩	×	14	2	3	2	4	1
5	吉野　涼	×	4	0	2	0	0	1
6	山田　陽大	×	9	1	3	0	2	2
7	元村　峻太	×	3	1	0	0	2	1
8	越田　大翔	×	19	2	5	3	18	2
9	鴨田　悠作	／	3	0	1	1	4	3
10	川辺　柊	DNP						
11	浜口　大空	／	0	0	0	0	0	0
12	細川　優斗	DNP						
13	鎌田　隆聖	DNP						
14	藤井　琉空	DNP						
15	山腰　巧斗	DNP						
16	東海林　介稔	DNP						
17	加賀　遼典	DNP						
18	加藤　颯	DNP						
HC	大浦　幸一							
合計			52	6	14	6	30	10

出場　×：スターター　／：途中出場　DNP：出場なし

得点　3P：3ポイントシュート　2P：2ポイントシュート　FT：フリースロー

【戦　評】

北海道カップ2日目、第1試合は沖縄港川対北見北の対戦。昨日の試合では、沖縄港川は札幌清田に敗れ、北見北はその札幌清田を3点差で制し、1試合目から注目のカードである。
港川＃5＃6＃7＃9＃18北見北＃4＃5＃6＃7＃8で、両チーム4out1inのフロアバランスでスタート。港川は＃18のポストプレーを軸に、対する北見北は＃4＃5の外角と＃8の1on1を軸にオフェンスを組み立てる。残り3分まで港川がリードしていたが、北見北は＃6のドライブからのバスケットカウント、＃4のミドル、＃8の3Pで逆転に成功。1Qを9－14、北見北5点リードで終える。
2Qはじめに北見北＃6＃8のミドルが決まり、対する港川は＃18のミドル、＃5の速攻で返す。北見北＃7の3P、＃5のミドルで10点差に。北見北＃6のミドル＃4の3Pが決まり、リードがさらに広がると思われたが、港川＃7の速攻、＃12のバスケットカウントで10点差にとどまる。前半20－30、北見北10点リードで終える。
後半、港川＃18がリバウンドに奮闘し、ポストプレーやミドルシュートで積極的に攻める。北見北は＃8の速攻が序盤に決まり、流れを掴みたかったが、その後のシュートが決まらず、流れに乗れない。残り4分30秒、点差が7点に縮まったところで、北見北タイムアウト。流れを変えたい。タイムアウト後北見北＃6の苦しまぎれの3Pが決まり、再び10点リード。その後、北見北＃8の連続得点でさらに広げるも、最後は港川＃5の1on1でブザービーターが決まり、32－42、10点差に戻して3Q終える。
4Q北見北＃8と港川＃18のリバウンド勝負となり、さらに港川は＃18のポストプレーで点差をつめる。対する北見北は＃4の3Pが決まるが、その後も＃18のリバウンド、＃7のミドルが決まり5点差。たまらず北見北タイムアウト。その後北見北＃5のドライブが成功するも、港川＃18のポストプレーを止められない。北見北＃8の3Pが決まるも港川も＃6の3Pで返す。5点差のまま、残り35秒、港川タイムアウト。セットプレーからの3Pが決まらず、その後港川はファールゲームに行くが、点差は縮まらず5点差のまま試合終了。
両チーム高身長の選手がおり、高さのあるリバウンド勝負は見物であった。一進一退の好ゲームとなった両チームに拍手を送りたい。

記 録　横尾　栄一　（強化委員）